

# 平成 21 年度第 12 回丸子地域協議会会議次第

平成 22 年 3 月 12 日(金)午後 1 時 30 分  
丸子地域自治センター3 階・第 1 会議室

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 会議事項

( 1 ) わがまち魅力アップ応援事業・平成 22 年度事業  
・事前打合せ

[ 資料 1 ]

・プレゼンテーション選考 [ 4 階・講堂へ移動 ]

・選考協議

( 2 ) 製造業の振興を狙った

先進地との人・モノ・情報のビジネス交流事業の実施について [ 資料 2 ]

## 4 調査研究事項

( 1 ) 全体会議

カネボウ食堂棟活用検討専門部会の報告

( 2 ) 専門部会

## 5 その他

- ・次回の日程「3 月 19 日(金曜日)」丸子文化会館小ホール
- ・その他

## 6 閉 会

上田市わがまち魅力アップ応援事業・平成 22 年度応募事業

プレゼンテーション選考

平成 22 年 3 月 12 日(金曜日)午後 2 時から  
丸子地域自治センター4 階「講堂」

時間	事業名	事業内容	団体名	備考
14:00 ~ 14:15	依田城登山道・岩谷堂遊歩道を 活かした歴史の道づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 依田城登山道整備、岩谷堂遊歩道整備。</li> <li>・ 子どもを中心とした城山登山。</li> <li>・ 木曾義仲の勉強会。</li> </ul>	小鍋立ての会	新規
14:15 ~ 14:30	江戸時代の郷蔵をはじめとする 歴史遺産を活かした飯沼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の史跡や古文書の調査と目録の作成。</li> <li>・ 地域の史跡を巡る案内板等の設置。</li> <li>・ 企画展と史跡めぐり。講座や講演会の開催。</li> </ul>	上田飯沼史学会	新規
14:30 ~ 14:45	腰越花の里マップ作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 花の里（仮称）ホームページ作成。</li> <li>・ 花桃、深山公園のツツジのほか、名所旧跡を掲載したマップの作成・配布。</li> </ul>	腰越花の会	新規
14:45 ~ 15:00	石井道しるべ・ふるさと景観復 活事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道しるべの復活（石碑の移動設置）。</li> <li>・ 蛸の育つ小川の整備。</li> <li>・ 遊歩道の整備。</li> </ul>	石井千曲川の自然を 愛する会	新規

## 1 上田市総合計画のなかの「地域まちづくり方針」との整合性

総合計画の「地域特性と発展の方向」の冒頭で次のことが明記されています。

丸子地域は、製造業の集積地として上田市の産業振興に大きく貢献している地域です。  
地域内に集積している産業資源や技術力を生かし、産業の活性化と雇用を促進することで、これからの上田市の発展を支えていきます。(総合計画 P196 より)

また、丸子地域の「地域まちづくり方針」のなかで、工業の存続・発展による地域振興の方針が打ち出されています。

未来型産業の振興と起業マインドの育成  
新たな地域産業の発展のためには、新技術の開発や未来型の産業化、新規企業の参入及び起業が必要です。  
神の倉工業団地や遊休地等を活用して企業誘致を進めるとともに、地域の繁栄を支えてきた工業については、新たな技術の高度化や企業間及び産学官の連携により振興を促進します。  
(総合計画 P197 より)

## 2 上田市の商工業振興方針のなかでの位置づけ

資料別図をご覧ください。

上田市では商工会議所や商工会など4商工団体の連携の強化と事業者の販路拡大を目的に、一般的な展示会出展等の共同連携事業にかかる経費の1/2を4商工会団体へ補助する事業を検討しています。丸子地域もこの事業には参画します。

この事業に加え、丸子地域としては別図に産業観光課でまとめた「先進地との人・モノ・情報のビジネス交流事業」といったような特色ある事業として進めていこうという意見が出されています。

旧丸子町時代から蓄積されてきた工業団体のまとまりと事業者間のネットワークという、地域特性を活かした丸子地域独自の事業であります。

丸子地域協議会で協議の場において、地域特性を活かし伸ばすという趣旨をもとに事業を進めていくことについてご協議ください。

### 3 事業実施にかかる経費について

予算をどの程度支出するか、また、どういう形式で支出するかは、今後上田市全体の財政基準に沿って編成作業が行なわれるため、現段階では担当課から具体的な提示はできません。

ご議論していただくにあたり、ここでは一つの例示として工業団体が行なう次の事業に関する経費をまとめましたのでご参考にしてください。

#### 技術・製品の持込によるビジネス交流（参考）

項目	内容	金額	摘要
会場装飾費	ブース小間代	405,000円	おおた工業フェア 2小間 52,500円×2 諏訪圏工業メッセ 1小間 150,000円×2
会場装飾費	統一デザイン装飾費	63,000円	バックパネル大型印刷物
運搬費	トラック借り上げ料	90,000円	上田 大田区
需用費	消耗品費	30,000円	
需用費	印刷費	8,000円	
		596,000円	

#### 先進地から専門家・キーパーソンの招聘・事例紹介（参考）

項目	内容	金額	摘要
講師謝礼	講演・研修・事例発表への謝礼	50,000円	(例) 大田区受発注相談員 同上 海外取引推進員 (例) 諏訪圏モノづくり推進機構
旅費	講師交通費	30,000円	
需用費	消耗品費	8,000円	
需用費	印刷費	8,000円	
		96,000	

# 丸子地域製造業の振興を狙った 先進地との人・モノ・情報のビジネス交流事業

既存事業

県外展示会共同出展  
昭和 56～ テクノフェア  
【新規】平成 22 年  
彩の国ビジネスアリーナ

先進地からキーパーソン招聘  
多摩川精機社長 萩本氏（飯田市）  
産学連携コーディネーター 大橋氏（諏訪圏）  
大田区 産業振興協会専務 山田氏

受注創出研究  
研究懇談会  
展示会視察  
（機械要素技術展）

※これまでの事業の蓄積を生かして  
新たな展開へ進める

## 先進地とのビジネス交流事業へと展開

### 先進地・集積地への出展

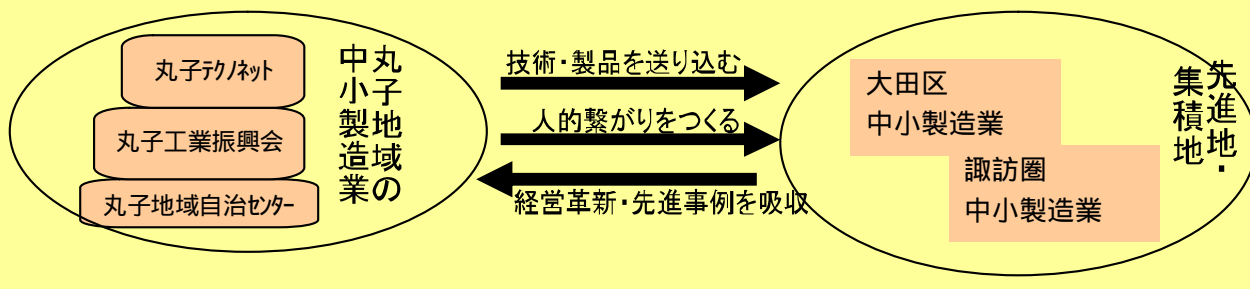
諏訪工業メッセ 2010  
おおた工業フェア

### 先進事例・海外情報の吸収

キーパーソンを呼んで講演  
海外展開相談員 研修

### 事業者同士の交流

丸子 先進地  
工場視察など



中小企業のモノづくりの先端技術・生き残り戦略に触れ意識向上（地域製造業の研鑽）  
継続的な交流により相互の技術を認識（受発注拡大のチャンスが大きくなる）

平成 22 年 1 月 25 日

上田市長 母 袋 創 一 様

上田市行財政改革推進委員会

会長 小 池 俊 一

## 「教育委員会事務局体制の改革」提言書 ～ 行政の一元化に向けて ～

### はじめに

新生上田市では、上田市行財政改革大綱の重点取組事項（集中改革プラン）として、教育委員会のスポーツや文化行政について市長部局への移行を可能にする国の教育委員会改革の趣旨に基づく「教育委員会事務局体制の改革」を掲げている。

一方、上田新時代の「ひとづくり」を市長部局と教育委員会が一体となって具体化していく方向性を見出すことを目的に、「上田市教育行政のあり方を考える有識者会議」を設置した。有識者会議から提言を受け、「上田市教育支援プラン」を策定した。

この背景として、教育委員会は、生涯学習という大きなテーマのもとに、学校教育の他に社会教育を管轄していることから、学校教育の分野に加え、体育の振興や文化の振興、公民館活動といった多岐かつ広範囲にわたる業務を行っているという現状がある。

当委員会では、行革大綱の基本方針である「縦割り行政を排除し新たな行政システムを構築する」という視点から、市長部局と教育委員会に跨る次の三つの分野について審議し、市の政策目的を実現するためには新たな体制を構築することが有効と考え、以下改革案として提言します。

「健康づくりと体育振興」

「観光と文化振興」

「地域づくりと公民館活動」

## 第1 提言する目的

縦割り行政を排除し、効率的・効果的な行政システムを実現する。

- (1) 管理の一元化と重複業務の見直しにより、人的・財政的資源の傾斜配分を可能にする
- (2) 教育委員会が生涯学習、とりわけ学校教育の分野に特化できる体制をつくる

## 第2 新たな体制について

### 1 「ひと・まち げんき 健康うえだ21」と体育振興施策を一元化する体制づくり

- ・「ひととまちが元気な地域づくり」を実現するために、ウォーキングやインターバル速歩等を実施している**健康づくり施策**と、スポーツ教室やスポーツ大会等を実施している**体育振興施策**の一元化を行い、**運動を楽しみながら健康づくりができる体制を実現する。**
- ・運動による効果を健康診断等のデータで実感し、運動を通じた健康づくりができる仕組みを実現する。

### 2 「信州上田観光ビジョン」と「上田市文化芸術振興に関する基本構想」の融合による相乗効果を実現する体制づくり

- ・「観光が元気になり、市民が元気になり、産業・文化が元気になるまちづくり」を実現するために、観光をリーディング産業として観光立市を目指す**観光施策**と、未来へつながる市民文化の創造を目指す**文化振興施策**を融合させ、住む人にとっても訪れる人にとっても魅力ある上田のまちづくりを行う体制を実現する。
- ・観光イベントだけではなく、観光ボランティアガイドやシャッターマン

のような市民による「おもてなしの心」の実践を上田市の観光文化として定着させ、観光戦略の企画力を強化するための仕組みを実現する。

- ・上田市固有の歴史や文化遺産といった地域文化を大切にし、新たな価値を生み出す文化振興の活動を経済活動や地域の活動と結び付け、担い手や活動内容が多様で裾野が広いものとする事で「上田らしい」観光ブランドを創出する仕組みを実現する。

### 3 まちづくり協働と公民館活動の結合による新たな地域づくりの体制づくり

- ・「市民主体のまちづくり」を実現するために、「上田市の自治の基本原則等を定める条例」の策定と地域協議会の活動を通じ市民と行政の協働によるまちづくりを目指す施策と、学習活動を支援する公民館活動を結合させ、市民の主体的な活動により地域づくりを行う体制を実現する。
- ・公民館における学習活動や、公民館分館における地域の活動を、地域協議会や地域自治センターの取組に反映させるための仕組みづくりを行う。
- ・公民館を「地域交流センター」（仮称）と位置づけ、地域における課題を解決するための学習活動や地域づくりの基礎となる人材の育成を行うとともに、まちづくり活動の拠点として活用するための仕組みづくりを行う。

## 第3 一元化の概念図と組織イメージ

新たな体制について、審議会で議論した概念図と組織イメージは、別紙のとおりです。

## 第4 付帯意見

上記の改革を進めるにあたっては、地域の教育事務所の使命のひとつである、各地域における相談や各種手続等の受け皿としての機能を充実するための体制づくりに配慮する必要がある。

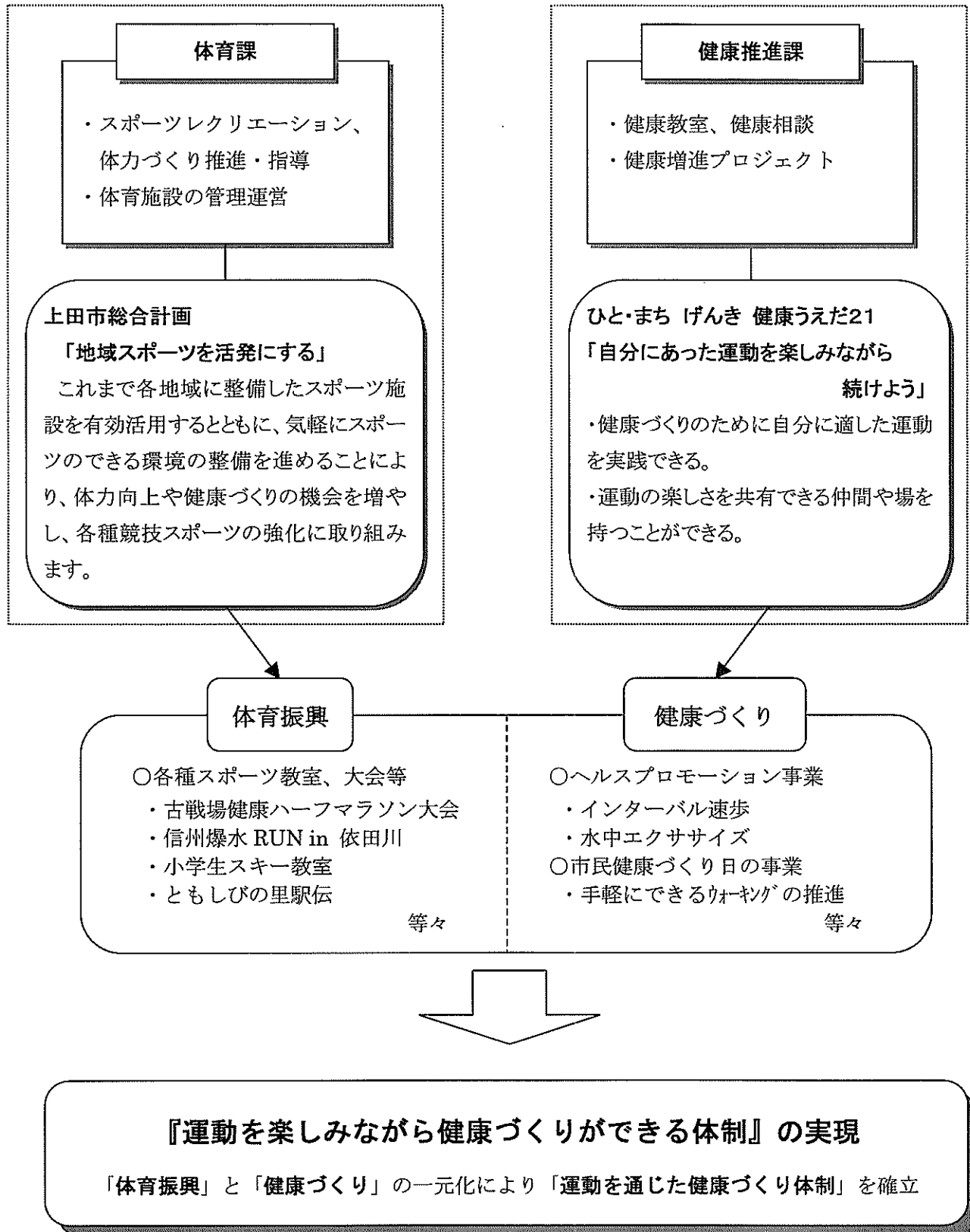
以上



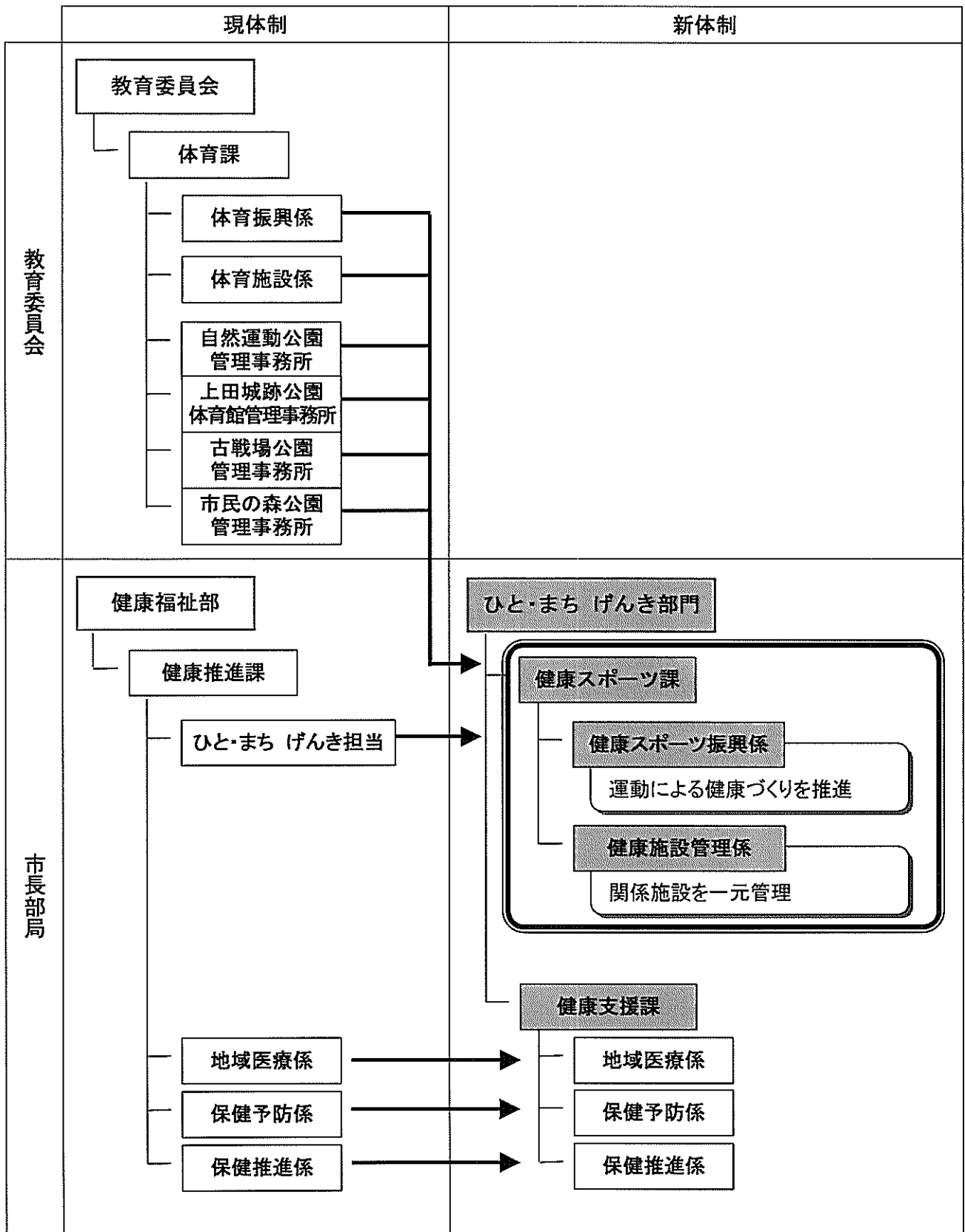
## 一元化の概念図と組織イメージ

### 1 「ひと・まち げんき 健康うえた21」と体育振興施策を一元化する体制づくり

#### (1) 概念図

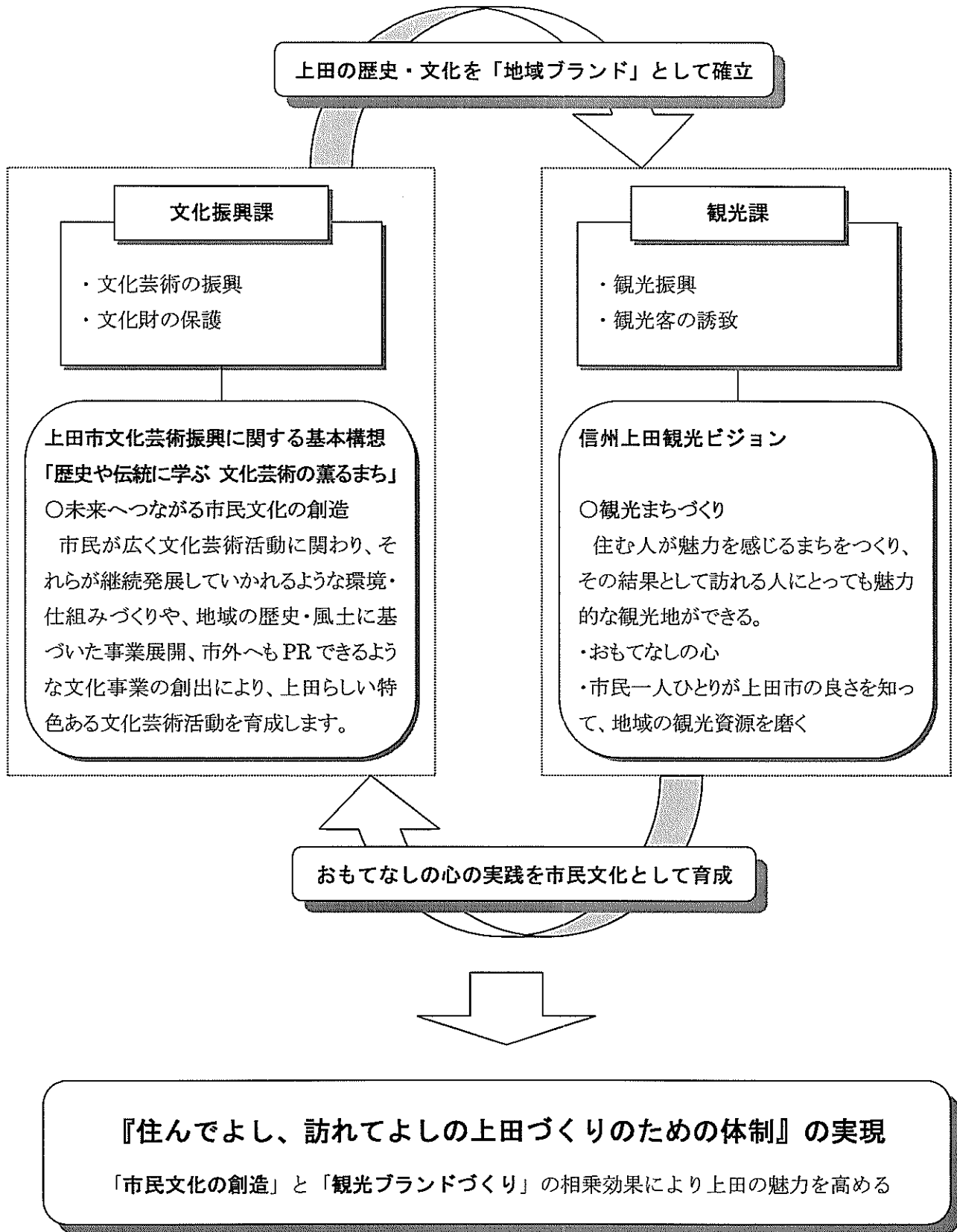


(2) 組織イメージ

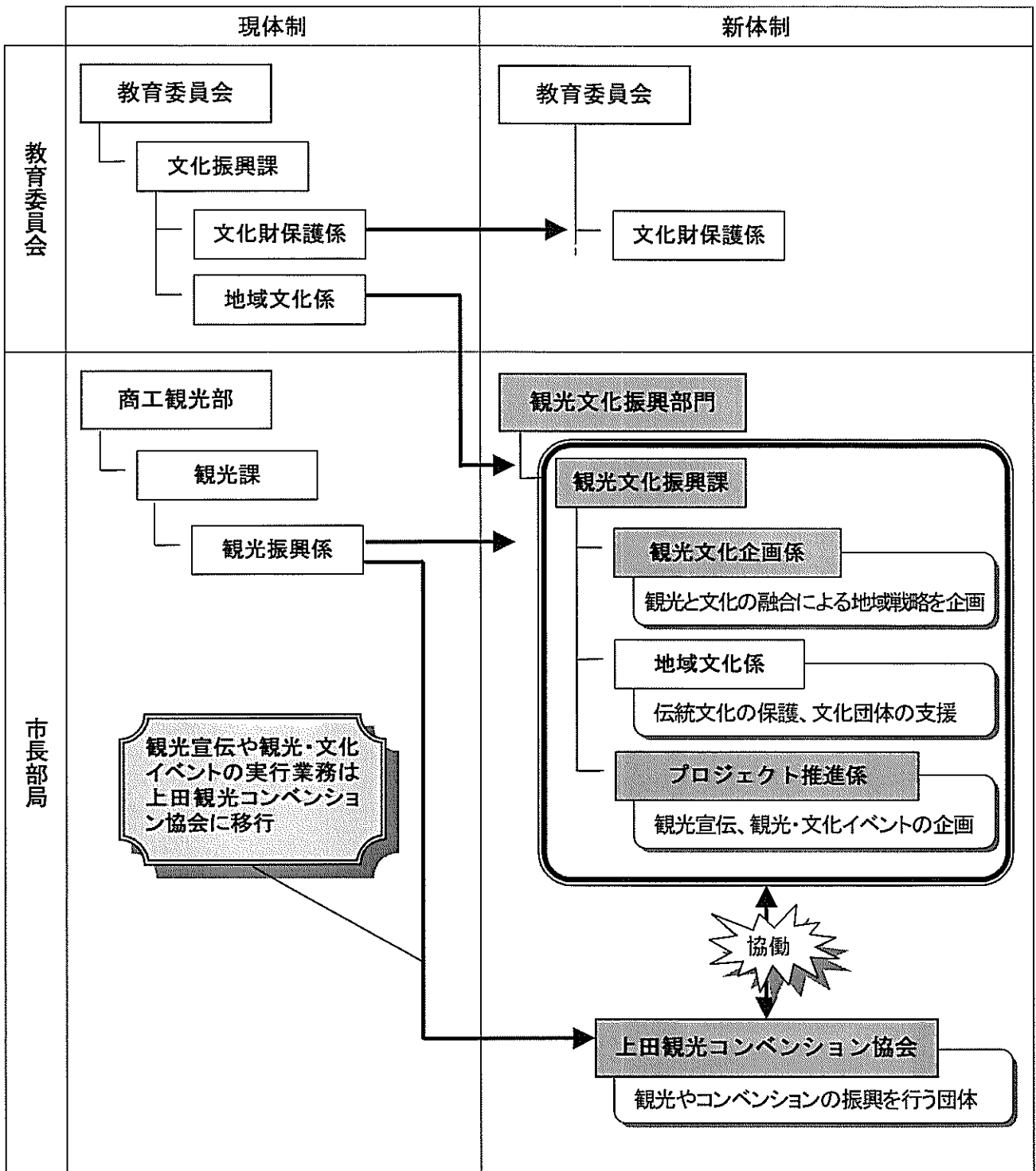


2 「信州上田観光ビジョン」と「上田市文化芸術振興に関する基本構想」の  
融合による相乗効果を実現する体制づくり

(1) 概念図

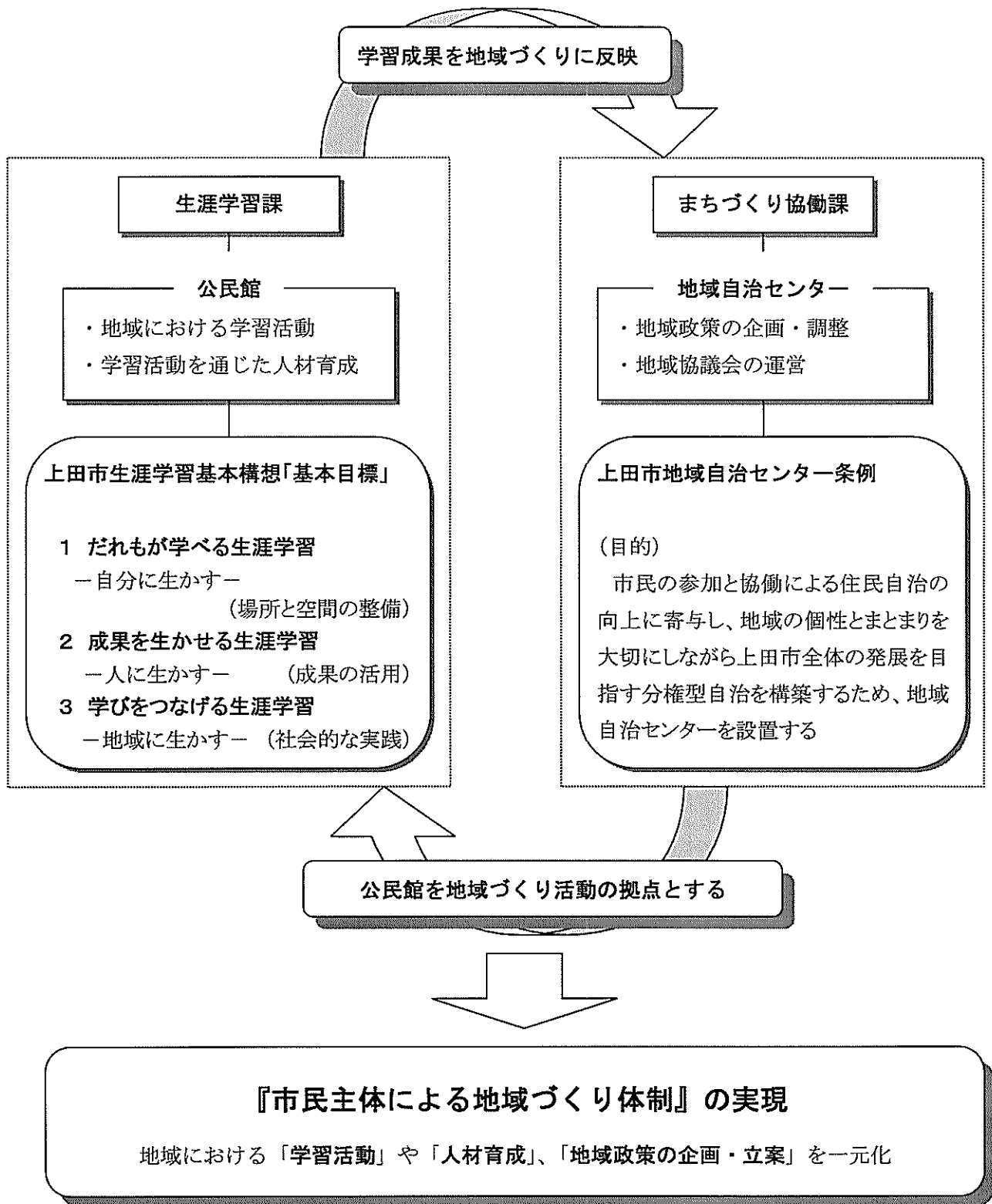


(2) 組織イメージ

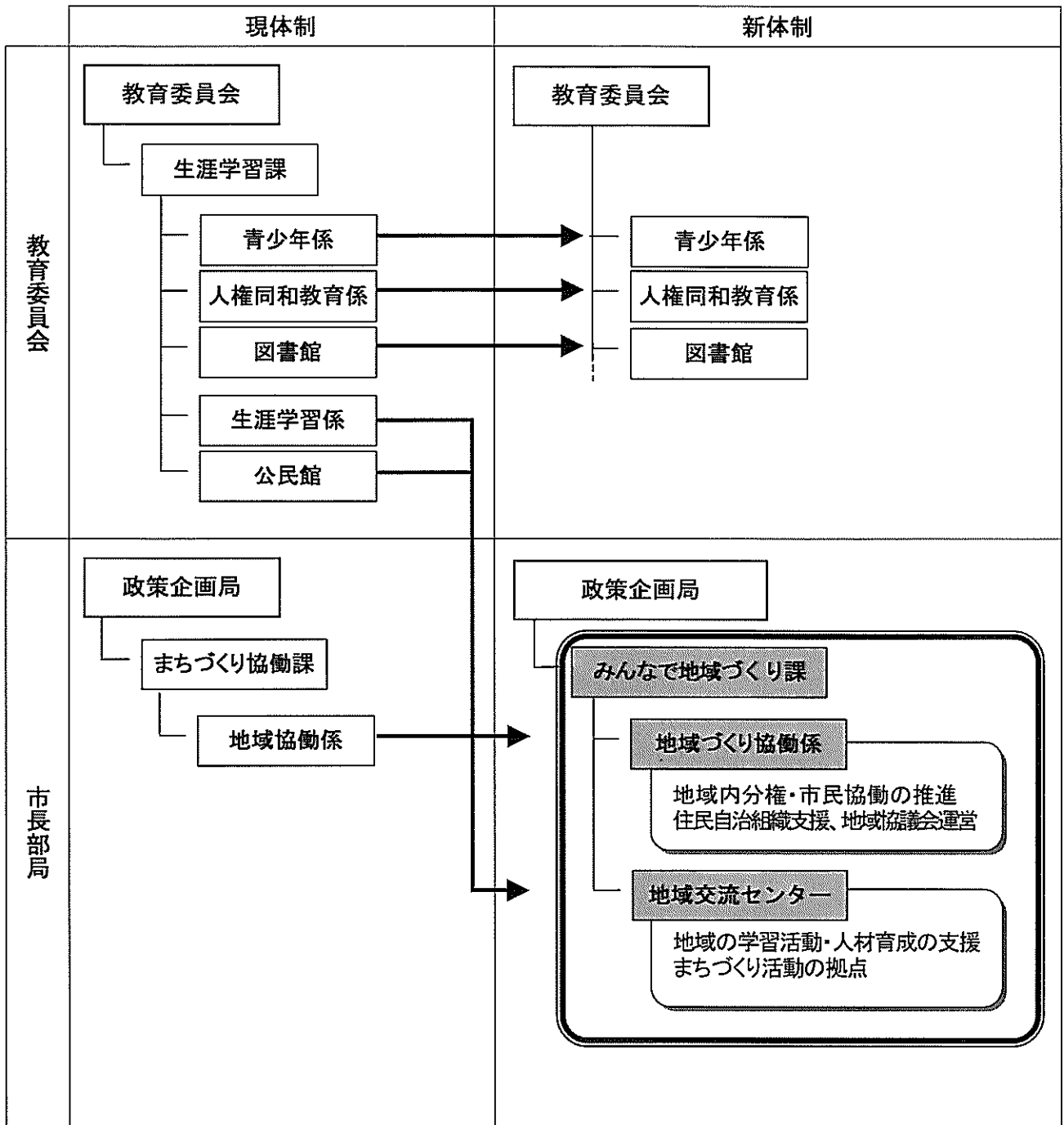


### 3 まちづくり協働と公民館活動の結合による新たな地域づくりの体制づくり

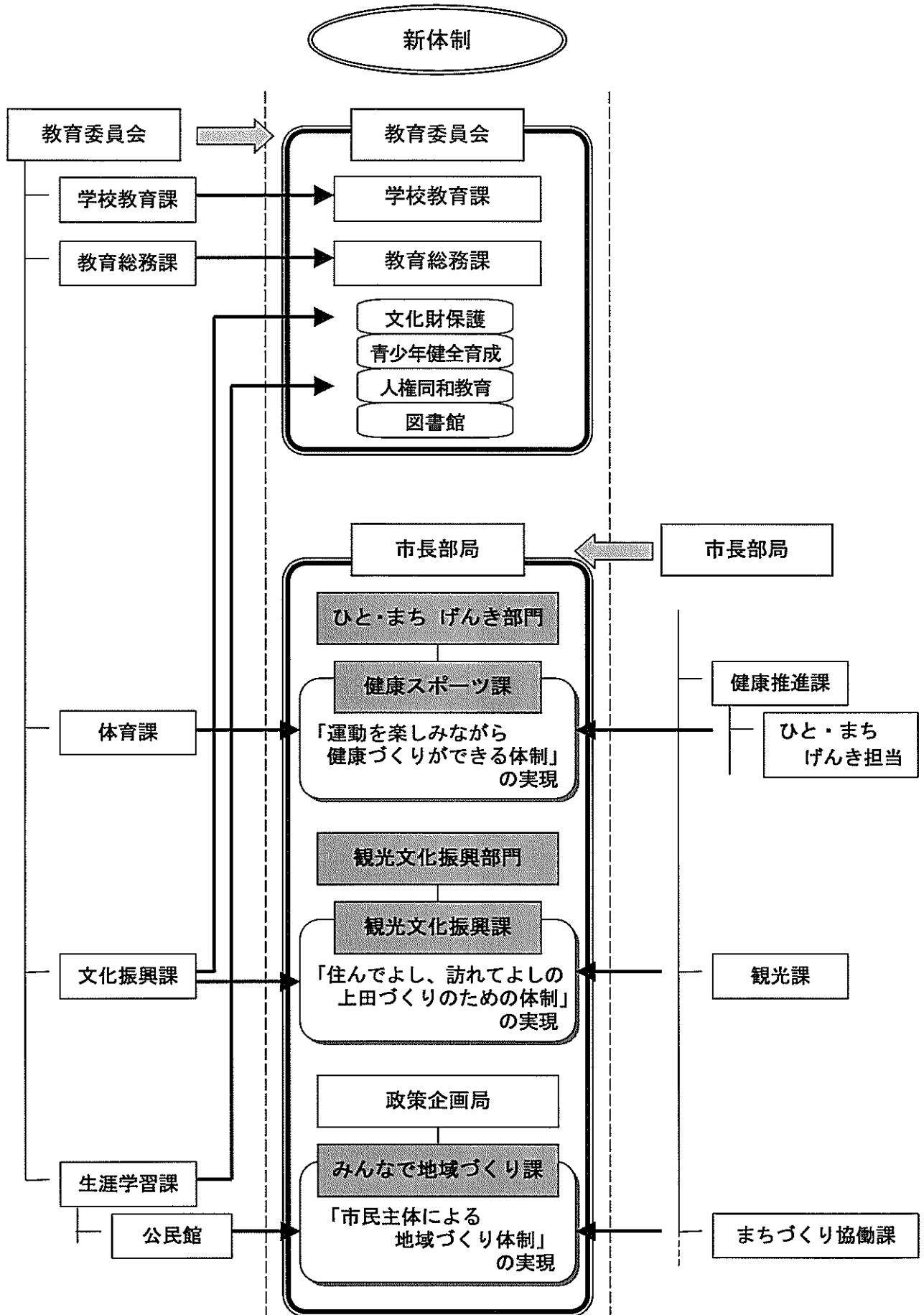
#### (1) 概念図



(2) 組織イメージ



4 組織イメージ（全体図）



上田市行財政改革推進委員会委員名簿（委員は五十音順）

役 職	氏 名
会 長	小 池 俊 一
副 会 長	宮 沢 俊 行
委 員	鬼 頭 寿
委 員	斉 藤 ゆり子
委 員	櫻 井 久 恵
委 員	塩 入 肇
委 員	高 橋 比呂美
委 員	武 井 純 雄
委 員	田 中 祥 貴
委 員	南 雲 典 子
委 員	西 沢 宗 夫
委 員	堀 内 理 恵
委 員	三 井 秀 雄
委 員	宮 下 千 元
委 員	森 田 小百合

審議経過

月 日	会 議	会 議 内 容
平成 21 年 10 月 15 日	第 10 回委員会	教育委員会事務局体制について
平成 21 年 10 月 30 日	第 11 回委員会	教育委員会事務局体制について
平成 21 年 11 月 5 日	第 12 回委員会	健康づくり部門と体育振興部門
平成 21 年 11 月 20 日	第 13 回委員会	観光部門と文化振興部門
平成 21 年 12 月 10 日	第 14 回委員会	地域づくり部門と生涯学習部門
平成 21 年 12 月 24 日	第 15 回委員会	提言書案について
平成 22 年 1 月 14 日	第 16 回委員会	提言書案について
平成 22 年 1 月 25 日	第 17 回委員会	提言書提出